



丸小フェスタ



自分も みんなも きらきらフェスタ2021
～学びを生かす・助け合い～

1年 クローバーけんきゅうしつ

☆小まつな きらきら わくわく ちょうさたい☆

1年生が大切に育てた小松菜の成長や栄養のことについて、調べたことや気づいたことを劇やクイズで楽しく発表しました。



2年 やさいのひみつをいろいろ教えます！



自分たちが育てている冬野菜やサツマイモの成長の様子や育て方、栄養などについて発表しました。

3年 豆のすばらしさを伝えます！☆元気いっぱい3年生☆

給食には豆を使ったメニューが多く出ていることから、豆の種類や栄養、豆と関わりのある地域の保育園やお店について調べたことを発表しました。



4年 みんなで食品ロスをへらそう！



食品ロスの現状について調べ、SDGsや段ボールコンポストなど、自分の生活と結びつけて考えたい取り組んだことを発表しました。

5年 クイズ63人の壁～ユメキボウから学んだこと～

田植えから稲刈り・精米まで米作りで体験したことをもとに学んだことを発表しました。



精米したユメキボウ 4.2kg



6年 「食」をみんなで楽しむために ～身近なことで世界を救おう～



世界の食の現状に目を向けて、
飢餓に苦しんでいる人を救うため
に、自分の生活の中でできること
について考え、発表しました。

「子ども・学校を見つめて ～児童支援専任だより～」

児童支援専任 森 洋介

毎週金曜日の朝は「朝読書」になっています。子どもたちは、8時25分のチャイムが鳴ると同時に、用意してきた本を開き、読書を始めます。

この時間、私が学校の中を回ると、ほとんど物音が聞こえません。教室の前を通ると、まるで誰もいないかのような静けさです。そっと教室の中を見ると、声を出さずにじっと読書に取り組んでいる子どもたちの姿があります。まさに「黙読」そして「熟読」の光景です。

ある教室で、一人の子が本のページを一生懸命めくり返している姿がありました。1ページごとに前に戻っているようです。数ページ前に戻ったところで手を止め、じっとそのページを読み直していました。やがて、読み進めていたところまでまたパラパラとページを戻し、読書を続けていました。その子は物語を読んでいたようです。もしかしたら、「この登場人物は、どんな人だったかな・・・？」と、それが分かるころまで戻って確かめていたのかもしれない。

今の時代、何か知りたいことがあれば、IT機器の「検索」で瞬時に調べることができます。逆に、一生懸命ページをめくって、探して、知りたいことにたどり着くという経験が、少なくなっているとも感じます。IT機器の便利さは、もちろん学習にも生活にも生かしていくべきものです。それと同時に、行きつ戻りつ、一生懸命探し、自分の疑問を解決する経験も大事です。この「朝読書」は、読書を通し、様々な貴重な経験ができる場であると感じています。

(※朝読書は、家から持参した本でなく、学校にある本を読む子もいます。金曜日の登校前に、読む本について、子どもに聞いてみてください。)